

2016/6/30

## 原水爆禁止国民平和進行茨城引き継ぐ

6月30日北茨城市平潟公民館で福島県から、いわき市原水協、平和行進の参加の皆さんと全国通し行進者の木伏研一さんを迎え、引き継ぎ集会を行いました。

引き継ぎ集会は高萩市議の平さんの司会で行い、福島県行進団を代表していわき市原水協の笹島さんが福島県内の行進の報告に触れながら、参議院選挙の真ただ中もあり、本日の引き継ぎ集会への参加者は少ないが例年並みの参加で無事引き継ぎすることができました。

茨城県の歓迎の挨拶は茨城県原水協の会長の加藤が行い、今年は6年ぶりの2度目の県内通し行進に挑戦します。被爆者から提唱された新しい国際署名を100%の県内全自治体が非核自治体宣言を達成したことを背景に、過去のいきさつにとらわれることなく、被爆者の願い、核兵器廃絶、戦争反対に結集することを呼びかけます。そのあと、国公労連議長、県医労連、新婦人、北茨城原水協のみなさんの代表の歓迎の挨拶がありました。

全国通し行進の木伏さんはこれまでの北海道からの感想を含め挨拶がありました。北海道からの全国の通し行進者は3名が参加しており、木伏さんは網走からの道内網の目行進を担当しました。行進当初から「強風」と「酷暑」そして「孤独な自治体」訪問と3つの困難を克服して、どんな困難にも打ち勝つことができると52日間の青森、岩手、宮城そして福島から茨城県へと元気に行進をしてきました。茨城県の一筆書きで全自治体への訪問楽しみにしていますと。



元気に挨拶する全国通し行進者木伏さんです。

福島から茨城へ行進リレー横断幕を引き継ぎました。